川は、あふれる。



ふだんは、めぐみのおおい川だが、おお雨などで 「はんらん」することがある。

川の水でおこめを つくっている。





おお雨がふると、 川はあふれること がある。

写真提供 国土交通省 関東地方整備局

川は、あふれる。



No.**2**

低 学年



5 学年

水のりょうがふえると川の様子はかわる。 大雨の時は川に近づかない。

まおあめ まえ ようす 大雨の前の様子



画像「川内川水防災河川学習プログラム(国土交通省 川内川河川事務所)」より



画像「川内川水防災河川学習プログラム(国土交通省 川内川河川事務所)」より

まおあめ とき ちか 大雨の時は川に近づかない

川は、あふれる。

No.**3** 共通

ていぼう 堤防が壊れるとあふれる。ほかにも 川に流れきらない雨があふれることがある。

①堤防が壊れてあふれるケース ②川に流れきらない雨があふれるケース











画像「川内川水防災河川学習プログラム(国土交通省 川内川河川事務所)」より

あふれると 水につかる。



あふれると、とちのひくいところは、水びたしになる。



あふれると 水につかる。

共通

No.**5**

低 学年



<u>ラテナ</u> 6 学年

かんばん等で水があふれた時の深さを知ろう。

水があふれた時の深さを 教えてくれるかんばん







画像「まるごとまちごとハザードマップ実施の 手引き(第2版)(国土交通省)」より

あふれると 水につかる。



ハザードマップで深さやにげる場所を知ろう。

自分たちの住むところのハザードマップで、

川があふれたときの深さが分かる。

いえ がっこう 家や学校が水につかるかどうか、あらかじめ調べておこう。



画像「国土交通省ハザードマップポータルサイト」より

あふれるまえににげる (水がこないところへ)

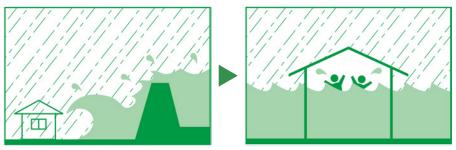


「じぶんはだいじょうぶ」とおもわず、あんぜんなと ころへにげる。



じぶんはだいじょうぶ。 もしものときはだれかが よびかけにきてくれる。

と、おもっていると...



あふれるまえに、 あんぜんなところへ

(あふれたらむりをせず、 ちかくのたかいところへ)



あふれるまえににげる (水がこないところへ)



川は、遠くでふっている雨を運んでくる。 いま 今いる場所が晴れていても、水があふれることがある。

水は、高い場所からひくい場所へと流れて集まる。 そのため山や高い所にふった雨は、川となって運ばれてくる。 近くだけでなく遠くの天気も知ろう。



画像「川内川防災教室(国土交通省 川内川河川事務所)」より

あふれるまえににげる (水がこないところへ)

共通

No.**9**

低学年

中学年

5 学年 6 学年

ひなんについての情報や

すいい かん じょうほう

川の水位に関する情報をチェックしよう。

じょうほう し いのち まも こうどう ひなんに関する 情報 を知って、 命 を守る行動をとる。

きけんど **危険度**

大 だい あんぜんかくほ 安全確保を!

ひなんしじ きんきゅう 避難指示(緊急)



ひなんかんこく



ひなんじゅんび

避難準備・こうれいしゃとうひなんかいし 高齢者等避難開始



川の水位に関する にようほう し 情報を知っておく。

ぼうさい じょうほう など (「川の防災 情報 」等 じょうほう で 情報 を得る)





画像「川の防災情報(国土交通省)」より

どこににげるか しっておく



かぞくや先生と、ひなんするばしょを たしかめておこう。



ちずをつかって、あぶないところやみちをかくにんしておこう。

どこににげるか しっておく



ひなんする場所にはしゅるいがある。

①サインをおぼえよう。



こうずい

JIS Z 8210-6.1.4



ひなん場所 (キケンからにげ **るところ)**

JIS Z 8210-6.1.5



ひなん所 (にげた後で生活 するところ)

②さいがいのしゅるいにあった 「ひなん場所」をえらぼう。

こうずいからにげるところ



がけ崩れ・地すべ



こうずい





土石流

Steep slope failure, land lide Flood from rivers

Fire disasters Storm surges/Tsunami





きんきゅうひなんばしょ

緊急避難場所

Emergency evacuation area

さんぎょうかかいかん

産業会館

Industrial hall

どこににげるか しっておく



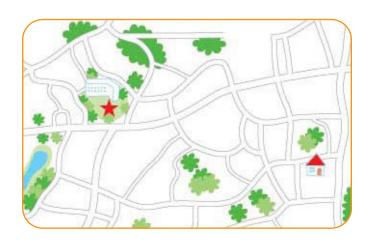
低 学年

中学年

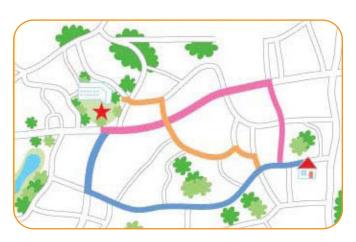
3 学年 **6** 学年

^{かんが} 複数のひなんルートを 考 えておく。

●地図を用意し、しまぶん
自分の家とひなんする場所に
しるしをつけよう。



②どの道を通ってひなんする か、3つくらいルートを考え てみよう。





3実際にひなんルートを歩いてみよう。

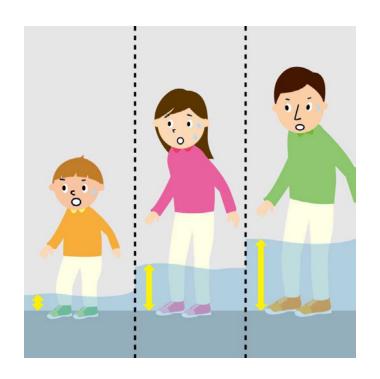
とき (土地のひくいところ、マンホールなどのキケ ンをチェックしてルートを見なおそう)

にげるときの ちゅうい



水のふかさが、ひざのうえになると、 あるけなくなる。

水のながれがはやいと、あさくてもあるけなくなる。 あふれるまえににげよう。





ながぐつだと、中に水が入っ てきてあるけなくなる





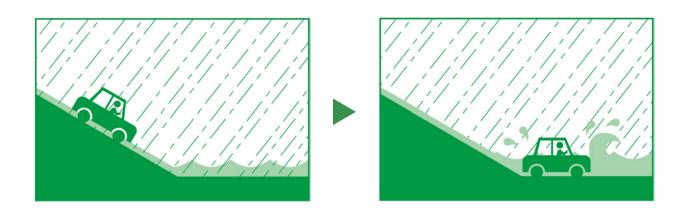
もしひなんしているときに 水があふれたら、すぐにちかくの たかいところに上がろう

にげるときの ちゅうい



水は高いところから、ひくいところへ流れる。 水の流れを予想してにげる。

水はひくいところへ流れる。 ひくいところは、水がたまる。



^{くるま} 車も、深いところではドア やマドが開かなくなる。



にげるときの ちゅうい



あふれたときは、足元に注意。 水はにごって、底が見えなくなる。

あふれた水はにごっている。底が見えづらいので、 すいる マンホールや水路などに気がつかず、すいこまれてしまうことがある。







深いところがないかどうか、 つえをついて足元をチェッ クしよう。

上ににげる (あふれたらすぐに上へ)



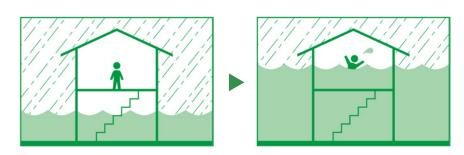
あふれたら、できるかぎり上ににげる。

すいちょくひなん 垂直避難



学校やじたく、ちかくのビルなど、できるだけ高いところ **へ上がる**。

水は、2かいまで おしよせてくるこ とがある。



上ににげる (あふれたらすぐに上へ)



地下に水が入ると、にげられなくなる。
すぐに地上へにげよう。

地下にいると地上の様子がわかり にくくなるのでちゅうい。





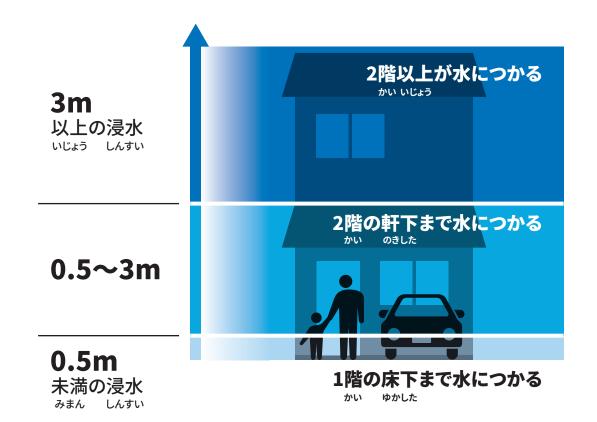


30cm の水でも、水あつでドアが開かなくなる。

上ににげる (あふれたらすぐに上へ)



がっこう 学校やじたくがどのぐらい水につかるかを知り、適切な行動をする。



水につかったら... はんらん こりっ (氾濫で孤立したら)



たすけがくるまでまつ。むりにそとにでない。



すぐにたすけがくるわけではない。 なん日もたすけがこないこともあるが、むりにそとへ でないようにしよう。

水につかったら... はんらん こりっ (氾濫で孤立したら)



ラジオなどで、じょうほうをえよう。



こりつすると、まわりで何が起こっているかわかりにくくなる。
でんちしき
電池式 (じゅう電式) のラジオなどでじょうほうをえる。

水につかったら...

(氾濫で孤立したら)



あらかじめ上に持っていくものを準備しておく。

こりつしても何日か過ごせるように、

水・食べ物・かいちゅう電灯・ラジオ・きちょう品などをもって 2階以上に上がる。

